

帝人株式会社 ■ コーポレートコミュニケーション部

●東京本社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館

TEL.03-3506-4055 FAX.03-3506-4150

●大阪本社 〒530-8605 大阪市北区中之島3丁目2番4号 中之島フェスティバルタワーウエスト

TEL.06-6233-3413 FAX.06-6233-5040

●URL <https://www.teijin.co.jp>

2021年 11月 2日

## COP26での展示品を通じて高機能素材を訴求

帝人株式会社

帝人株式会社（本社：大阪市北区、社長：鈴木 純）は、自動車の環境負荷軽減に貢献する事業を展開するとともに、電気自動車によるフォーミュラーカーレースに参戦する英国の「Envision Racing Formula E Team」（以下「ER」）を支援しています。

そのERが、10月31日より英国・グラスゴーにおいて開催されている「気候変動枠組み条約第26回締約国会議（COP26）」にブース出展しており、そこに展示された環境配慮型の最先端電気自動車のレーシングカーやレーシングスーツに当社の高機能素材が使用されています。当社は、これを通じて、持続可能な社会の実現に向けた軽量化、エネルギー効率化、および安全性と快適性の向上に寄与するソリューションを訴求します。

### 1. COP26における当社関連の展示

- (1) ERが英国の化学メーカーであるジョンソン・マッセイ社がコンセプトカーとして共同開発した、世界初の2人乗り電気自動車のレーシングカーの車体に、当社の炭素繊維「テナックス」が使用されています。「テナックス」を用いることで、高強度化によるドライバーの安全性向上や、車体の軽量化によるエネルギー効率の向上が実現できる他、自由度の高い設計も可能になります。この車体は、197カ国からの代表団が一堂に会する会場で、国連の認定を受けた場合にのみ展示することができる「ブルーゾーン」において紹介されています。
- (2) 来年のレースでERのレーサーが着用するレーシングスーツに、当社のアラミド繊維「コーネックス・ネオ」が使用されています。高い難燃性や耐熱性を有する「コーネックス・ネオ」は、レーシングスーツに必要な機能を高水準で満たす一方、特殊な紡糸法による製造プロセスにより化学物質排出やエネルギー消費を削減します。このレーシングスーツは、一般参加者向けの「グリーンゾーン」に展示されています。



ERのレーシングスーツ



2人乗り電気自動車のレーシングカー

## 2. 帝人グループの環境への取り組み

- (1) 帝人グループは、2050年までに自社が排出するCO<sub>2</sub>を実質ゼロにすることを掲げています。さらに、2030年度の自社のCO<sub>2</sub>排出量の削減目標を2018年度対比「30%削減」、サプライチェーンの排出量の2/3以上を占める部分について、2018年度対比「15%削減」という数値目標を掲げています。
- (2) このたび展示品に使用された「テナックス」を展開する炭素繊維事業では、強度や弾性率などの機械特性に優れ、かつ軽量である「テナックス」によって環境負荷軽減に寄与すべく、大型風力発電用のブレード（羽根）、航空機、水素タンクなど、様々な用途に向けて製品供給しています。今後も、環境配慮型製品に向けた展開を拡大していく他、サプライチェーン全体でCO<sub>2</sub>排出量を削減する取り組みにもさらに注力していきます。
- (3) 一方、「コーネックス・ネオ」を展開するアラミド事業では、CO<sub>2</sub>排出量の削減、すべてのアラミド製品をリサイクルするための新たな基準の設定、材料の流れの見える化、という3つの主要なテーマを掲げています。そして、パラ系アラミド「トワロン」を使用した最終製品のパルプへのリサイクルや、防護衣料などに使用されたメタ系アラミドの織物の繊維へのリサイクルなど、環境配慮型の取り組みを20年以上にわたって展開してきました。今後も、廃棄物の発生やバージン品の使用を最小限に抑えながら、アラミド製品や原料のさらなる循環の実現を目指していきます。
- (4) 帝人グループは、サーキュラーエコノミーの推進や、素材調達から生産、使用、廃棄に至るまで、製品のライフサイクル全体での環境負荷軽減、そのための新たな技術や仕組みの開発に最善を尽くし、「未来の社会を支える会社」になるという長期ビジョンに向けて積極的に取り組んでいきます。

以 上

【 当件に関するお問合せ先 】

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL: (03) 3506-4055